

セブン&アイグループを知る

企業プロフィール  
数字で見るセブン&アイグループ

マーケット環境を知る

国内マクロ環境  
国内小売業の動向  
米国マクロ環境及び小売業の動向  
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)  
世界の小売業/売上高ランキング  
/時価総額ランキング

セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

グループ重点戦略 ~「食」の強み~  
連結財務KPI  
キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元  
連結業績の推移  
連結業績ハイライト  
セグメント別業績の推移  
財務状況  
主要事業会社の概要  
国内コンビニエンスストア事業  
海外コンビニエンスストア事業  
スーパーストア事業  
百貨店・専門店事業  
金融関連事業

株式情報を見る

株式情報

セブン&アイグループの歴史を見る

▶ 沿革

沿革

■ 会社設立・資本政策・財務戦略 ■ 店舗展開・営業政策

セブン&アイHLDGS. 設立以前のあゆみ

1958	4月	■ ㈱ヨーカ堂を設立
1971	3月	■ ヨーカ堂を㈱イトーヨーカ堂に社名変更
1972	9月	■ イトーヨーカ堂、東証へ上場
1973	3月	■ 紅丸商事㈱と業務提携
	11月	■ 米国最大のコンビニエンスストアチェーンのサウスランド社とライセンス契約を締結し、㈱ヨークセブンを設立
	11月	■ 米国レストランチェーンのデニーズ社との提携に基づき㈱デニーズジャパンを設立
1974	5月	■ セブン - イレブン1号店を出店
1977	7月	■ イトーヨーカ堂、米国ナスダックへ米国預託証券(ADR)を登録
1978	1月	■ ヨークセブンを㈱セブン - イレブン・ジャパンに社名変更
1979	10月	■ セブン - イレブン・ジャパン、東証へ上場
1980	11月	■ ㈱ヨークベニマル、東証へ上場
1982	2月	■ デニーズジャパン、東証へ上場
1986	7月	■ イトーヨーカ堂のADRを米国ナスダック市場ナショナルマーケットシステムへ指定替え
1991	3月	■ イトーヨーカ堂とセブン - イレブン・ジャパンはIYG Holding Companyを通して、サウスランド社へ資本参加、経営権を取得
1996	12月	■ 成都イトーヨーカ堂有限公司を中国四川省成都市に設立
1997	9月	■ 華糖ヨーカ堂有限公司を中国北京市に設立
1999	5月	■ サウスランド社を7-Eleven, Inc.に社名変更
2000	7月	■ 7-Eleven, Inc.、米国ナスダックからニューヨーク証券取引所に再上場
2001	4月	■ ㈱アイワイバンク銀行を設立
	10月	■ ㈱アイワイ・カード・サービスを設立
2003	5月	■ イトーヨーカ堂、米国ナスダックにおけるADRの登録を廃止
	8月	■ セブン - イレブン・ジャパン、国内店舗数10,000店を突破
2004	1月	■ セブン - イレブン北京有限公司を中国北京市に設立
2005	4月	■ アリオ1号店『アリオ蘇我』グランドオープン

セブン&アイHLDGS. 設立からのあゆみ

2005	9月	■ ㈱セブン&アイ・ホールディングスを設立、東証へ上場
10月	■ アイワイバンク銀行を㈱セブン銀行に社名変更	
11月	■ 株式公開買い付けにより7-Eleven, Inc.を完全子会社化 長期的な収益向上及びセブン - イレブンのグローバル戦略の推進を目的に同社を完全子会社化	
	11月	■ 『アリオ札幌』、『アリオ川口』グランドオープン
2006	2月	■ セブンアンドワイ㈱を子会社化 グループのIT事業の中核会社として同社の子会社化を実施
	5月	■ 国内のセブン - イレブンへ「第6次総合情報システム」の導入を開始
6月	■ 株式交換により㈱ミレニアムリテイリングを完全子会社化 グループの百貨店事業の強化として、㈱そごうと㈱西武百貨店を子会社に持つ同社を完全子会社化	
7月	■ 自己株式427,509,908株の消却を実施 イトーヨーカ堂が保有していたセブン - イレブン・ジャパン株式及びデニーズジャパン株式を消却	
8月	■ 7-Eleven, Inc.、White Hen Pantry, Inc.を買収 米国シカゴ地区で約200店舗のコンビニエンスストアを展開する同社を買収	
9月	■ 株式交換によりヨークベニマルを完全子会社化 関連会社だった同社を完全子会社化し、食品スーパー事業の中核会社に位置づけ	
	11月	■ 「グループMD(マーチャンダイジング)改革プロジェクト」発足
2007	1月	■ ㈱セブン&アイ・フードシステムズを設立 外食事業分野の統合・再編を目的に新会社を設立
3月	■ ㈱ロフトを子会社化 全国で生活雑貨専門店を展開する同社をミレニアムリテイリングが子会社化	
3月	■ セブン - イレブンが世界最大のチェーン店舗数に	
4月	■ セブン - イレブンでのグループ独自の電子マネー『nanaco(ナナコ)』のサービス開始	
5月	■ グループのプライベートブランド商品「セブンプレミアム」の販売開始	
7月	■ ㈱赤ちゃん本舗を子会社化 全国にベビー・子供洋品専門店を展開する同社をイトーヨーカ堂が子会社化	
8月	■ 国内のセブン - イレブンで「セブンプレミアム」の販売開始	
9月	■ セブン&アイ・フードシステムズがデニーズジャパン、㈱ファミリー、ヨーク物産㈱の3社を吸収合併	

11月	■ ㈱藤越を子会社化 福島県で食品スーパーを展開する同社をヨークベニマルが子会社化	
12月	■ 日本テレビ放送網㈱、㈱電通との共同出資により㈱日テレ7(セブン)を設立 小売とメディアの融合を目指し、新たな事業戦略を展開することを目的に同社を設立	
12月	■ 『成都イトーヨーカ堂錦華(ジンファ)店』オープン	
12月	■ デニーズでの『nanaco』の利用開始	
2008	1月	■ ㈱セブン&アイ・フィナンシャル・グループを設立 銀行業を除くグループの金融関連事業を統括する目的で同社を設立
2月	■ 自己株式11,329,000株の消却を実施 2008年1月にセブン - イレブン・ジャパンより取得した自己株式全株を消却	
2月	■ セブン銀行がジャスダック証券取引所に上場	
3月	■ イトーヨーカドーでの『nanaco』の利用開始	
3月	■ 『アリオ鳳』グランドオープン	
4月	■ セブン - イレブン中国有限公司を設立 エリアライセンスによる中国でのセブン - イレブン店舗展開の推進を目的に設立	
4月	■ 国内のセブン - イレブン全店舗で『QUICPay(クイックペイ)』の利用開始	
6月	■ 『nanaco』へのクレジットチャージサービスを開始	
7月	■ 1,000億円の無担保社債(第1回・第2回・第3回)を発行	
7月	■ ㈱セブン&アイ・ネットメディアを設立 IT関連事業の更なる強化を目指し、同事業を統括する目的で同社を設立	
7月	■ 自己株式50,000,000株の消却を実施 市場買付により取得した自己株式全株を消却	
8月	■ ㈱アインファーマシーズと業務・資本提携 店舗出店、医薬販売及び商品開発における連携を目的に業務・資本提携	
8月	■ 農業生産法人㈱セブンファーム富里を設立	
8月	■ “生活応援型”ディスカウントストア1号店『ザ・プライス西新井店』オープン	
2009	1月	■ ㈱セブンカルチャーネットワークを設立 文化教室事業と旅行事業を融合した新しいビジネスの展開を目的に同社を設立
1月	■ 「セブンプレミアム」が日経優秀製品・サービス賞2008の「最優秀賞日本経済新聞賞」を受賞	

セブン&アイグループを知る

企業プロフィール  
数字で見るセブン&アイグループ

マーケット環境を知る

国内マクロ環境  
国内小売業の動向  
米国マクロ環境及び小売業の動向  
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)  
世界の小売業/売上高ランキング  
/時価総額ランキング

セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

グループ重点戦略 ~「食」の強み~  
連結財務KPI  
キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元  
連結業績の推移  
連結業績ハイライト  
セグメント別業績の推移  
財務状況  
主要事業会社の概要  
国内コンビニエンスストア事業  
海外コンビニエンスストア事業  
スーパーストア事業  
百貨店・専門店事業  
金融関連事業

株式情報を見る

株式情報

セブン&アイグループの歴史を見る

▶ 沿革

セブン&アイグループの歴史を見る

沿革

■ 会社設立・資本政策・財務戦略 ■ 店舗展開・営業政策

- 2009 4月 ■ 中国上海市内にてエリアライセンスによるセブン - イレブン店舗展開を開始
- 8月 ■ ミレニアムリテイリング、そごう、西武百貨店の3社が合併し、存続会社であるそごうの商号を株式会社そごう・西武に変更
- 9月 ■ セブン - イレブン北京、中国天津に初出店
- 9月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、京浜急行電鉄株と業務提携 京浜急行電鉄駅構内の売店をセブン - イレブン店舗に転換することを目的に業務提携
- 10月 ■ 国内のセブン - イレブン全店舗で『Edy(エディ)』の利用開始
- 11月 ■ プライベートブランド商品の世界展開第1弾としてワインを日米同時販売
- 11月 ■ 『成都イトーヨーカ堂建設路店』オープン
- 12月 ■ 7-Eleven, Inc., New England Pantry, Inc.を買収 米国ボストン地区で58店舗のコンビニエンスストアを展開する同社を買収
- 12月 ■ 株式会社業務・資本提携 各種チケット、イベント関連及び会員ビジネスにおける連携を目的に業務・資本提携
- 12月 ■ セブンアンドワイを株式会社ネットショッピングに社名変更
- 12月 ■ グループのネット通販『セブンネットショッピング』のサービス開始

---

- 2010 1月 ■ セブン銀行による個人向けローンサービスの開始
- 3月 ■ タワーレコード株へ資本参加 エンターテインメント及びIT・ネット分野における連携を目的に資本参加
- 3月 ■ 『nanaco』発行枚数1,000万枚を突破
- 6月 ■ 自己株式20,000,000株の消却を実施 市場買付により取得した自己株式全株を消却
- 6月 ■ 1,100億円の無担保社債(第4回・第5回・第6回)を発行
- 6月 ■ 株式会社セブン&アイ・アセットマネジメントを設立 西武池袋本店の信託受益権(固定資産)の取得・保有を目的に同社を設立
- 6月 ■ 国内のセブン - イレブン全店舗で、『アイワイカード』『JCBカード』のクレジットカード決済サービスを開始
- 7月 ■ 株式会社セブンファームを設立 各地における農業法人の新規設立や事業拡大、食品リサイクル網の整備等の一元管理を目的に同社を設立
- 9月 ■ 株式会社クレディセゾンとの包括的業務提携契約の締結 そごう・西武がクレディセゾンとの間で行っている提携カード事業の合併会社化及び今後のカード事業の成長を目的に業務提携
- 9月 ■ セブン&アイ・アセットマネジメントがそごう・西武の西武池袋本店の土地建物等(1,230億円)を取得
- 9月 ■ 「セブンプレミアム」のワンランク上の品質を実現した「セブンプレミアムゴールド」を発売
- 9月 ■ 国内のセブン - イレブン全店舗で『Visa』『マスターカード』『アメリカン・エキスプレス』『ダイナースクラブ』のクレジットカード決済サービスを開始
- 10月 ■ アイワイ・カード・サービスを株式会社セブン・カードサービスに社名変更
- 10月 ■ 都市型小型スーパーマーケット『イトーヨーカドー食品館阿佐谷店』オープン
- 11月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、「複数店経営奨励制度」内容を拡充 複数店全店を対象にセブン - イレブンチャージから売上総利益の3%に相当する金額を減額する新制度を導入
- 11月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、北海道キヨスク株と業務提携 北海道キヨスクが道内の主要駅に展開しているコンビニエンスストア等をセブン - イレブン店舗に転換することを目的に業務提携
- 11月 ■ セブン - イレブン・ジャパンの店頭マルチコピー機においてチケットぴあの販売開始
- 12月 ■ セブン - イレブン成都有限公司を設立 中国四川省成都市でのセブン - イレブン店舗展開を目的に設立

---

- 2011 3月 ■ セブン&アイ・フィナンシャル・グループ、株式会社SEキャピタル及び株式会社セブン・キャッシュワークスの3社が合併し、存続会社であるSEキャピタルの商号を株式会社セブン・フィナンシャルサービスに変更
- 3月 ■ セブン - イレブン・ジャパンが日本における「セブン - イレブン」の商標権を取得 7-Eleven, Inc.が保有する「セブン - イレブン」ブランドの商標権のうち、日本における商標権を取得
- 3月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗取得 Exxon Mobil Corporationが米国フロリダ州に展開するコンビニエンスストア等183物件を取得
- 3月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗リース契約 Illinois State Toll Highway Authorityが米国イリノイ州の有料高速道路のサービスエリア内で展開するコンビニエンスストア等13ヶ所を運営する契約を締結
- 3月 ■ 国内のセブン - イレブン全店舗で交通系電子マネーの利用開始
- 3月 ■ セブン銀行、海外送金サービス開始 世界最大の送金サービスを展開するウェスタンユニオンと提携し、海外送金サービスを開始
- 4月 ■ 株式会社セブンCSカードサービスを子会社化 セブン・カードサービスと連携し、クレジットカードや電子マネー、共通ポイントサービスを複合的に提供することを目的に同社を子会社化
- 6月 ■ 7-Eleven, Inc., WFI Group, Inc.を買収 米国ニューヨーク州に188店舗のコンビニエンスストアを展開するWilson Farms, Inc.の親会社であるWFI Group, Inc.を買収
- 6月 ■ グループ横断の『セブン&アイ ポイントサービス』を開始 グループ各社発行のクレジットカードの利用で、優遇ポイントを付与するサービスを拡大
- 9月 ■ グループ各社のポイントを「nanacoポイント」に集約してグループ各社の店舗で利用が可能となる「nanacoポイントクラブ」を開始
- 11月 ■ 『成都イトーヨーカ堂高新(ガオシン)店』グランドオープン
- 12月 ■ 無料ワイヤレス通信サービス「セブンスポット」を開始
- 12月 ■ セブン銀行、東証に上場

---

- 2012 1月 ■ セブン - イレブン・ジャパンの年間売上が国内の小売業で初めて3兆円を突破
- 1月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗取得 Exxon Mobil Corporationが米国テキサス州に展開するコンビニエンスストア等51ヶ所を取得
- 2月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗取得 Sam's Martが米国ノースカロライナ州及びサウスカロライナ州に展開するコンビニエンスストア55店舗を取得
- 3月 ■ セブン・フィナンシャルサービスと株式会社ヨークインシュアランスはセブン・フィナンシャルサービスを存続会社として合併
- 3月 ■ セブンネットショッピングで電子書籍の販売を開始
- 3月 ■ 株式会社ヨークマートでの『nanaco』の利用開始
- 3月 ■ 65歳以上のお客様に発行手数料無料の電子マネー『シニアnanaco』の利用開始
- 4月 ■ ヨークベニマルでの『nanaco』の利用開始
- 5月 ■ グループのプライベートブランド商品「セブンライフスタイル」の販売開始
- 6月 ■ 山東衆邸便利生活有限公司を設立 セブン - イレブン・ジャパンは、衆地集团有限公司と合併で山東省でのセブン - イレブン展開を目的に設立
- 6月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗取得 Strasburger Enterprises, Inc.が米国テキサス州に展開するコンビニエンスストア23店舗を取得
- 7月 ■ 7-Eleven, Inc.が米国ウィスコンシン州に展開するコンビニエンスストア18店舗を取得
- 7月 ■ 宅配サービス「セブンらくらくお届け便」スタート
- 7月 ■ イトーヨーカ堂(中国)投資有限公司を設立 スーパーストア事業における中国事業の統括と傘下の子会社に直接投資することを目的に設立

セブン&アイグループを知る

企業プロフィール  
数字で見るセブン&アイグループ

マーケット環境を知る

国内マクロ環境  
国内小売業の動向  
米国マクロ環境及び小売業の動向  
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)  
世界の小売業／売上高ランキング  
／時価総額ランキング

セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

グループ重点戦略 ～「食」の強み～  
連結財務KPI  
キャピタル・リアロケーションプラン／株主還元  
連結業績の推移  
連結業績ハイライト  
セグメント別業績の推移  
財務状況  
主要事業会社の概要  
国内コンビニエンスストア事業  
海外コンビニエンスストア事業  
スーパーストア事業  
百貨店・専門店事業  
金融関連事業

株式情報を見る

株式情報

セブン&アイグループの歴史を見る

▶ 沿革

セブン&アイグループの歴史を見る

沿革

■ 会社設立・資本政策・財務戦略 ■ 店舗展開・営業政策

- 2012 9月 ■ セブン - イレブン中国有限公司について事業目的、資本金(増資)等の変更を行い、セブン - イレブン(中国)投資有限公司に商号変更
- 10月 ■ SEJ Asset Management & Investment Companyを設立  
北米における業務拡大と収益の向上に向けた体制を強化することを目的に設立
- 10月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗等取得  
Prima Marketing LLCが米国ウエストバージニア州、オハイオ州、ペンシルバニア州、ケンタッキー州においてセブン - イレブンのエリアライセンス事業を展開するコンビニエンスストア74店舗を取得  
EZ Energy USA, Inc.が米国オハイオ州、ペンシルバニア州に展開するコンビニエンスストア67店舗とガソリン卸売事業を取得  
Handee Marts, Inc.が米国ウエストバージニア州及びメリーランド州において、セブン - イレブンのエリアライセンス事業を展開するコンビニエンスストア58店舗を取得  
Fast Track, Inc.が米国ノースカロライナ州に展開するコンビニエンスストア12店舗を取得
- 11月 ■ セブン - イレブン天津有限公司を設立  
中国天津市において積極的な業務拡大を図るため新会社を設立
- 11月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗等取得  
Tetco, Inc.が米国テキサス州及びユタ州に展開するコンビニエンスストア174店舗とガソリン卸売事業を取得
- 12月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗等取得  
C.L. Thomas, Inc.が米国テキサス州に展開するコンビニエンスストア143店舗とガソリン卸売事業を取得
- 2013 2月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、国内店舗数15,000店を突破
- 3月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗リース契約  
Lehigh Gas Partners LPが米国ペンシルバニア州に所有するコンビニエンスストア19店舗を運営する契約を締結
- 3月 ■ セブン銀行、550億円の無担保社債(第8回・第9回・第10回)を発行
- 4月 ■ セブン・フィナンシャルサービス、セブン・カードサービスが、クレジットカードと電子マネー『nanaco』が一体となった『セブンカード・プラス』のサービス開始
- 4月 ■ 1,000億円の無担保社債(第7回・第8回・第9回)を発行
- 4月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗取得  
CB Mart, Inc.が米国サウスカロライナ州に展開するコンビニエンスストア46店舗を取得
- 7月 ■ イトーヨーカ堂、株ダイイチと業務・資本提携  
北海道地区での食品小売分野の事業基盤強化を目的に業務・資本提携
- 9月 ■ セブン銀行の米国完全子会社FCTIが  
Global AccessCorp.のATM事業を買収

- 10月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、新京成電鉄株と業務提携  
新京成線駅構内の売店をセブン - イレブン店舗に転換することを目的に業務提携
- 11月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、創業40周年
- 12月 ■ 株ニッセンホールディングスと資本・業務提携  
ニッセンホールディングスが有するカタログ、インターネット事業における強みをオムニチャネル戦略の推進に活用することを目的に資本・業務提携
- 12月 ■ 株天満屋ストア並びに株天満屋と業務提携  
イトーヨーカ堂、天満屋ストアと資本提携  
岡山県・広島県における小売事業の基盤強化を目的に業務提携
- 12月 ■ 株バルスと資本・業務提携  
雑貨関連商品等の共同開発による付加価値の高い商品の販売、及びオムニチャネル分野での連携を目的に資本・業務提携
- 12月 ■ 中国・重慶市でのセブン - イレブン店舗展開を開始
- 2014 1月 ■ 『成都イトーヨーカ堂 温江(オンコウ)店』グランドオープン
- 1月 ■ 「セブンカフェ」が日経優秀製品・サービス賞2013の「最優秀賞日本経済新聞賞」を受賞
- 1月 ■ 株バーニーズジャパンの株式取得  
百貨店事業における商品開発力の強化及びオムニチャネル分野での連携を目的に株式取得
- 1月 ■ ニッセンホールディングスを連結子会社化
- 3月 ■ セブン&アイ・ネットメディア、セブンネットショッピングを吸収合併
- 3月 ■ イトーヨーカ堂、「平成25年度第35回食品産業優良企業等表彰」環境部門で農林水産大臣賞受賞
- 3月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、西日本旅客鉄道株並びに株ジェイアール西日本デیلیーサービスネットと業務提携  
西日本旅客鉄道管内における既存の駅店舗を提携店舗へリニューアルすることを目的に業務提携
- 5月 ■ 燃料備蓄基地の完成  
埼玉県杉戸町に避難所や店舗への緊急配送として燃料400キロリットルを備蓄
- 5月 ■ セブン - イレブン記念財団、「仙台湾セブンの森」植樹活動を実施  
林野庁仙台湾森林管理署と連携し仙台湾沿岸地区海岸防災林の再生を支援
- 7月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、四国旅客鉄道株並びに四国キヨスク株と業務提携  
四国旅客鉄道管内における既存のキヨスク店舗を提携店舗へリニューアルすることを目的に業務提携
- 7月 ■ 東日本大震災に伴う復興支援企画「東北かけはしプロジェクト」の新三か年計画を始動
- 11月 ■ 『グランツリー武蔵小杉』グランドオープン

- 11月 ■ 日本IR協議会による第19回「IR優良企業賞」を受賞
- 12月 ■ セブン銀行、150億円の無担保社債(第11回)を発行
- 2015 1月 ■ 内閣府による第1回「女性が輝く先進企業表彰」において『内閣総理大臣表彰』を受賞
- 1月 ■ 東京証券取引所による「2014年度 企業行動表彰」を受賞
- 2月 ■ バーニーズジャパンを連結子会社化
- 2月 ■ セブン - イレブン・ジャパンの年間売上が4兆円を突破
- 3月 ■ ネットスーパー専用店舗を開設  
『セブン&アイ・ホールディングス ネットスーパー西日暮里店』運用開始
- 3月 ■ 株万代と業務提携  
関西地域における食品小売分野の更なる成長を目的に業務提携
- 4月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、神戸電鉄株並びに神鉄観光株と業務提携  
神戸電鉄管内の駅売店をセブン - イレブン店舗に転換することを目的に業務提携
- 5月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗取得  
Tedeschi Food Shops, Inc.が米国マサチューセッツ州に展開するコンビニエンスストア181店舗を取得
- 6月 ■ 1,200億円の無担保社債(第10回・第11回・第12回)を発行
- 10月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、大阪高速鉄道株と業務提携  
大阪モノレール駅構内の店舗をセブン - イレブン店舗に転換することを目的に業務提携
- 11月 ■ 『omni7』グランドオープン
- 11月 ■ 7-Eleven, Inc.におけるガソリン卸売事業の取得  
Biscayne Petroleum, LLC及びEverglades Petroleum, LLCが米国フロリダ州で運営するガソリンに係る小売事業101件、及び卸売事業を取得
- 11月 ■ イトーヨーカ堂、大企業小売販売事業者部門にて『製品安全対策ゴールド企業』(経済産業省)に認定
- 12月 ■ イトーヨーカ堂、「平成27年度第1回パートタイム労働者活躍推進企業表彰」にて、『最優良賞(厚生労働大臣賞)』を受賞
- 2016 3月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗取得  
Imperial Oil Limitedがカナダ アルバータ州及びブリティッシュコロンビア州に展開するコンビニエンスストア148店舗を取得
- 4月 ■ 『セブンパーク アリオ柏』グランドオープン
- 6月 ■ 7-Eleven, Inc. における店舗取得  
CST Brands, Inc.が米国カリフォルニア州及びワイオミング州に展開するガソリンスタンド及びコンビニエンスストア79店舗を取得
- 7月 ■ イトーヨーカ堂、「サプライチェーン イノベーション大賞」(経済産業省)を受賞



## セブン&アイグループを知る

企業プロフィール  
数字で見るセブン&アイグループ

## マーケット環境を知る

国内マクロ環境  
国内小売業の動向  
米国マクロ環境及び小売業の動向  
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)  
世界の小売業/売上高ランキング  
/時価総額ランキング

## セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

グループ重点戦略 ~「食」の強み~  
連結財務KPI  
キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元  
連結業績の推移  
連結業績ハイライト  
セグメント別業績の推移  
財務状況  
主要事業会社の概要  
国内コンビニエンスストア事業  
海外コンビニエンスストア事業  
スーパーストア事業  
百貨店・専門店事業  
金融関連事業

## 株式情報を見る

株式情報

## セブン&アイグループの歴史を見る

▶ 沿革

株式会社 **セブン&アイ** HLDGS.  
コーポレートアウトライン2022

## セブン&アイグループの歴史を見る

沿革

## 沿革

■ 会社設立・資本政策・財務戦略 ■ 店舗展開・営業政策

- 2016 8月 ■ セブン - イレブンが世界で60,000店を突破
- 10月 ■ 中期3カ年計画の公表
- 10月 ■ エイチ・ツー・オー リテイリング株との資本業務提携の基本合意  
百貨店事業における資源再配分の実現を目指して、両グループの店舗網や商品・サービス等を有効活用し、関西圏にお住まいのお客様の利便性・利用満足度の向上を目的に業務提携
- 10月 ■ イトーヨーカ堂、女性活躍推進法に基づく「えるぼし」企業に認定
- 11月 ■ ニッセンホールディングスを完全子会社化
- 11月 ■ 女性活躍推進法に基づく「えるぼし」企業に認定

- 2017 1月 ■ 『成都イトーヨーカ堂眉山(ピザン)店』オープン
- 3月 ■ 経済産業省と東京証券取引所による「なでしこ銘柄」において「なでしこ銘柄2017」に選定
- 5月 ■ 「セブンプレミアム」10周年
- 6月 ■ ベトナムにセブン - イレブン初出店
- 6月 ■ 中国・浙江省にセブン - イレブン初出店
- 7月 ■ アスクル株との業務提携の基本合意  
当社ECサイト「オムニ7」とアスクルECサイト「ロハコ」間での相互送客、「ロハコ」のプラットフォームを活用した新業態「Yフレッシュ」の開始等を目的に業務提携
- 10月 ■ 加盟店従業員向け保育事業を開始  
「セブンなないろ保育園」を開園
- 10月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、第7次POSレジスターを全国に順次導入
- 10月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、完全子会社株セブン - イレブン・沖縄を設立
- 11月 ■ 『プライムツリー赤池』グランドオープン

- 2018 1月 ■ 7-Eleven, Inc.における店舗取得  
Sunoco LP社がテキサス州、フロリダ州等に展開するガソリンスタンド及びコンビニエンスストア1,030店舗を取得
- 1月 ■ セブン - イレブンが国内で20,000店を突破
- 2月 ■ 環境省と一般財団法人地球・人間環境フォーラムによる「第21回環境コミュニケーション大賞」環境報告書部門において持続可能性報告優秀賞を受賞
- 2月 ■ 企業の持続可能性評価「RobecoSAM Sustainability Award 2018」にて「ブロンズクラス」に認定
- 4月 ■ 株イズミと業務提携  
経営資源や経営ノウハウの有効活用により、事業効率の向上や利益拡大を目的に業務提携
- 5月 ■ 中国・江蘇省にセブン - イレブン初出店

- 6月 ■ 「セブン&アイ・データラボ」発足  
異業界データの相互活用により生活課題・社会課題解決を図る
- 6月 ■ 株セブン・ペイを設立  
事業環境の変化に対応したデジタル戦略の一環として、スマートフォンをツールとした決済サービス等を目的に設立
- 7月 ■ 小田急電鉄株及び小田急商事株と業務提携  
小田急電鉄沿線への出店拡大の推進及び集中的な事業展開を目的に業務提携
- 7月 ■ 株増進会ホールディングスと業務提携  
両グループの事業収益の拡大による一層の繁栄と企業価値の最大化を目的に業務提携
- 9月 ■ 6億米ドルの無担保普通社債を発行
- 10月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、「PRIDE指標」にて最高評価ゴールド認定を受賞

- 2019 1月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、大手コンビニ3社連携による、店舗配送車両の駐車場共同利用を開始  
コンビニ3社のいずれが複数社の店舗が近接する場所において駐車場を共同利用するもので、持続的な店舗配送物流の維持を図る
- 3月 ■ 経済産業省と東京証券取引所による「なでしこ銘柄」において、「準なでしこ」に選定
- 3月 ■ 中国・湖北省にセブン - イレブン初出店
- 4月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、「行動計画」を策定  
社会構造や環境の変化に対応し、それぞれの地域におけるお客様の社会的なインフラとして多様性のある社会と共生し、持続可能な成長を実現していくための指針
- 5月 ■ セブン&アイグループ環境宣言「GREEN CHALLENGE 2050」を策定  
社会ニーズの変化や環境問題等、お客様やお取引先様をはじめすべてのステークホルダーの皆様とともに「豊かで持続可能な社会」の実現に向けた取り組み
- 6月 ■ 環境省の「CEチャレンジ」参加企業に選定
- 7月 ■ 沖縄県にセブン - イレブンが初出店  
全国47都道府県への出店を達成
- 8月 ■ 中国・陝西省にセブン - イレブンが初出店
- 8月 ■ 「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)」提言への賛同を表明
- 10月 ■ 台湾に赤ちゃん本舗が初出店
- 11月 ■ 中国・福建省にセブン - イレブンが初出店
- 12月 ■ セブン - イレブンが世界で70,000店を突破

- 2020 2月 ■ “セブン - イレブン” ブランドが初のランクイン「Best Japan Brands 2020」18位に
- 2月 ■ セブン - イレブン・ジャパンの年間売上が5兆円を突破

- 3月 ■ 7-Eleven, Inc.におけるBrown-Thompson General Partnership及び7-Eleven, L.L.C.の株式取得  
北米における商品力の強化と店舗網の拡充による更なる収益拡大を目的に株式取得
- 3月 ■ 『健康経営優良法人2020~ホワイト500~』に認定
- 5月 ■ 新たな食品スーパーマーケット「ヨークフーズ」1号店オープン
- 5月 ■ 中国・湖南省にセブン - イレブン初出店
- 6月 ■ ヨークマートを株ヨークへ商号変更しグループの首都圏食品スーパーを再編
- 8月 ■ 7-Eleven, Inc.によるSpeedway等の株式その他持分取得に関する契約締結  
北米における店舗網と収益の拡大、ESG分野におけるリーダーシップ強化を目的に契約締結
- 10月 ■ ヴェオリア・ジャパン株、三井物産株との「PETボトルリサイクル工場」合弁会社設立の合意  
PETボトルリサイクルによる循環経済社会達成を目的に合弁会社を設立
- 10月 ■ 中国・河南省にセブン - イレブン初出店
- 12月 ■ 3,500億円の無担保社債(第13回・第14回・第15回)発行
- 12月 ■ 再生可能エネルギー100%使用を目指す国際的イニシアチブ「RE100」に参画

- 2021 2月 ■ 7-Eleven, Inc.、109.5億米ドルの無担保普通社債を発行
- 2月 ■ (株)アールプラスジャパンに資本参加  
使用済みプラスチックの再資源化技術・仕組の構築を目的に資本参加
- 3月 ■ 「健康経営優良法人2021~ホワイト500~」に選定
- 3月 ■ セブン - イレブン記念財団、環境省、一般社団法人環境パートナーシップ会議との環境保全及び共同取り組みに関する協力協定書締結  
環境保全活動及び環境保全に関する取り組みの推進、SDGs達成に向けた取り組みにおける協力協定
- 4月 ■ オフサイトPPAを含むグリーン電力を一部店舗に導入  
グループの店舗運営における使用電力の100%再生可能エネルギー化の実現を目指し、NTTグループと協力
- 5月 ■ 7-Eleven, Inc.によるSpeedway等の株式その他持分取得完了  
Marathon Petroleum Corporation社が主にSpeedwayブランドにて運営するコンビニエンスストア事業及び燃料小売事業を運営する複数の会社の株式その他持分を取得
- 6月 ■ 「DX銘柄2021」に初選定
- 6月 ■ 協栄J&T環境株に資本参加  
使用済みペットボトルの再資源化技術・仕組の構築を目的に資本参加

セブン&アイグループを知る

企業プロフィール  
数字で見るセブン&アイグループ

マーケット環境を知る

国内マクロ環境  
国内小売業の動向  
米国マクロ環境及び小売業の動向  
グループ主要事業会社のマーケットシェア(単体)  
世界の小売業/売上高ランキング  
/時価総額ランキング

セブン&アイグループの業績と戦略を理解する

グループ重点戦略 ~「食」の強み~  
連結財務KPI  
キャピタル・リアロケーションプラン/株主還元  
連結業績の推移  
連結業績ハイライト  
セグメント別業績の推移  
財務状況  
主要事業会社の概要  
国内コンビニエンスストア事業  
海外コンビニエンスストア事業  
スーパーストア事業  
百貨店・専門店事業  
金融関連事業

株式情報を見る

株式情報

セブン&アイグループの歴史を見る

▶ 沿革

沿革

■ 会社設立・資本政策・財務戦略 ■ 店舗展開・営業政策

- 2021 7月 ■ 中期経営計画の公表
- 7月 ■ ㈱Peace Deliをイトーヨーカ堂及びヨークに簡易吸収分割
- 7月 ■ ネットスーパーの大型センターを新横浜に開設決定  
ラストワンマイル施策の強化を目的に開設
- 7月 ■ Peace Deli、千葉菅田に食品製造工場を建設決定  
グループ食品戦略の強化を目的に建設
- 7月 ■ セブン - イレブン・ジャパン、一般社団法人「セブングローバルリネージュ」を設立  
国をまたいだ人材の育成・就業促進の支援・管理を通じて、多文化共生社会を実現することを目的に設立
- 7月 ■ ㈱FrancfrancをBlue Wedge Limitedへ一部株式譲渡
- 8月 ■ ESG投資の株価指数「FTSE4Good Index Series」「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定  
FTSE4Goodには7年連続、FTSE Blossom Japanには5年連続選定
- 8月 ■ カンボジアにセブン - イレブン初出店
- 9月 ■ そごう・西武、セブン&アイ・アセットマネジメントを吸収合併
- 9月 ■ 「あふの環」プロジェクトに参画  
農林水産省、消費者庁、環境省が2020年6月に立ち上げた、持続的な生産消費に向けた取り組みを進める企業や団体のプロジェクトに参画
- 10月 ■ インドにセブン - イレブン初出店
- 10月 ■ 『セブンマイルプログラム』がグッドデザイン賞受賞
- 10月 ■ 電子マネー『nanaco』がApple Pay™に対応
- 11月 ■ 『セブンパーク天美』グランドオープン

---

- 2022 1月 ■ 7-Eleven International LLC 本格始動  
7-Elevenグローバルブランド価値向上を目指す
- 3月 ■ ㈱オッシュマンズ・ジャパンを(株)エービーシー・マートへ株式譲渡
- 3月 ■ セブン&アイグループの『重点課題』を改定
- 3月 ■ ヨークベニマル、ライフフーズを吸収合併
- 4月 ■ 当社及びセブン銀行、東証の市場区分再編にともないプライム市場へ移行
- 4月 ■ 当社株主はじめステークホルダーの皆様へ向けた経営メッセージの発信  
経営メッセージ「世界トップクラスのグローバル流通グループへの進化を目指して」
- 6月 ■ 再エネ電源の確保を目的とした基本合意書を締結  
NTTアノードエナジー(株)と、長期継続的にセブン&アイへ追加性のある再生可能エネルギーの新規供給を行うことを目的に基本合意
- 8月 ■ 潜在的なESGリスクに対する取り組みを評価する「FTSE Russell」ESG Rating 4.3を獲得
- 8月 ■ 「セブンプレミアム」15周年  
累計販売金額13兆円を突破
- 9月 ■ セブンプレミアムの新ブランド『セブン・ザ・プライス』誕生
- 9月 ■ お茶の水女子大学と『SDGsに関する包括的連携協力に係る協定』を締結
- 10月 ■ 食を起点とするグループシナジー創出に向けたグループ戦略映像『Issue;「食」グループシナジーが生む企業価値最大化の展望』を公開
- 10月 ■ 自然環境に配慮して生産された認証水産物の流通管理に関する認証規格『MSC・ASC CoC認証』を取得
- 10月 ■ 東京都八王子市と行政連携で実施する高齢者健康増進に向けた実証実験参加
- 11月 ■ ㈱そごう・西武をFortress Investment Group LLCの関連事業体たる特別目的会社である杉合同会社へ株式譲渡することを意思決定

---

- 2023 1月 ■ イスラエルにセブン - イレブン初出店
- 1月 ■ 世界的なESG投資の指標「Dow Jones Sustainability™ Asia/Pacific Index」の構成銘柄に14年連続で選定  
食品・日用品小売業種では“日本唯一”選定
- 3月 ■ 中期経営計画のアップデート、グループ戦略再評価の結果を公表
- 3月 ■ グループ初の共通インフラ「Peace Deli流山キッチン」稼働開始  
イトーヨーカドー・ヨークの首都圏約200店舗に商品供給
- 4月 ■ ㈱セブン・カードサービスをセブン銀行へ株式譲渡することを意思決定
- 5月 ■ ㈱バーニーズジャパンをラオックスホールディングス(株)へ株式譲渡